

参考資料 1 検討会発表事例概要

●都道府県

事例 1 福井県

事例 2 岡山県

事例 3 広島県

●特別区

事例 4 港区

事例 5 世田谷区

事例 6 板橋区

●町

事例 7 下仁田町

●関係団体

事例 8 (社) 日本栄養士会

事例 9 (社) 日本フードサービス協会

事例 10 (社) 東京都司厨士協会

●民間

事例 11 朝日エル

事例 12 シダックス

●諸外国

事例 13 スコットランド (政策 : 食環境の取組内容)

事例 14 フィンランド (評価)

事例 15 米国ディズニーワールド (民間での取組)

事例 1

福井県における「健康づくり応援の店」 (県と温泉旅館協同組合との連携)

事例提供者：福井県福祉環境部健康増進課 谷口孝子氏
福井県芦原温泉旅館協同組合 ヘルシーメニュー研究会 立尾章英氏

1 内容

福井の健康づくり「食の応援団」事業として「健康づくり応援の店」の登録、外食アドバイザーの養成・派遣、旅館におけるヘルシーメニュー導入モデル事業を実施している。

① 健康づくり応援の店

県民が安心して外食を楽しむことができ、健康な食生活を育む街づくりを推進する飲食店。

② 外食アドバイザーの養成・派遣 ((社) 福井県栄養士会に委託)

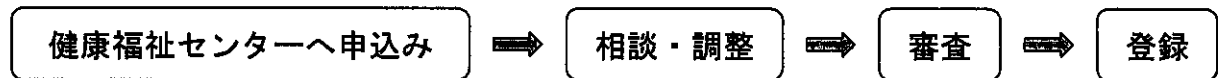
- ・栄養士の養成講座を修了した在宅栄養士に認定証を交付
- ・「健康づくり応援の店」登録を希望する飲食店の取組を支援
- ・栄養価計算、掲示物の作成協力等



③ 旅館におけるヘルシーメニュー導入モデル事業

宿泊施設でも安心して旅行を楽しめる環境を整えるために、芦原温泉旅館協同組合でヘルシーメニュー研究会を設立し、標準的なヘルシーメニューを作成。組合員全員の取組が目標。

2 健康づくり応援の店登録の手順



3 「健康づくり応援の店」コースの内容

(1) ヘルシーサービスの実施コース (下記8項目中4項目以上が対応可能な場合)

- ① ご飯の量が調節できる。
- ② ノンオイルドレッシング等が選択でき、マヨネーズやタルタルソースは別添えできる。
- ③ 定食につく汁物や漬物を別のものに変更できる。
- ④ かけしょうゆとして、減塩しょうゆや割しょうゆ、ポン酢等が選べる。
- ⑤ 高齢者向けメニューの提供または宅配ができる。
- ⑥ 野菜のおかわりができる。
- ⑦ 禁煙席、禁煙タイム、店内終日禁煙のいずれかを実施。
- ⑧ 行政が配布する健康情報に関するポスター、パンフレット等を提示。

(2) ヘルシーメニューの提供コース (下記7項目中3献立以上が対応可能な場合)

- ① 野菜たっぷり (1食分当たりの基準 120g 以上)
- ② 緑黄色野菜たっぷり (1食分当たりの基準 50g 以上)
- ③ カルシウムたっぷり (1食分当たりの基準 200mg 以上)
- ④ 鉄分たっぷり (1食分当たりの基準 4mg 以上)
- ⑤ エネルギーひかえめ (1食分当たりの基準 650kcal 以下)
- ⑥ 脂肪ひかえめ (1食分当たりの基準 16g 以下)
- ⑦ 塩分ひかえめ (1食分当たりの基準 3.3g 以下)

(3) 栄養成分表示コース（下記の①～③のいずれかに該当する場合）

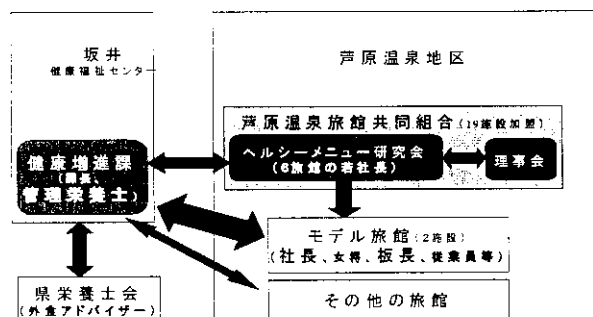
項 目	登 録 基 準
① 1食分の分量があるメニューの場合	人気のあるものやおすすめだと思ふメニューなど3献立以上のメニューに表示がある
② 1食分にならない単品メニューの場合	人気のあるものやおすすめだと思ふメニューなど10品以上のメニューに表示がある。
③ 旅館や民宿などメニューの選択肢が限られている場合	1コース以上に表示がある。 (例：ヘルシーコースを1献立表示する等)

(4) そうざいを含む食品製造コース

製造している商品のうち10品以上（製造している商品が10品未満の場合は全ての商品）に対し健康増進法第31条により定められた栄養表示基準に基づいて表示し、かつ「健康づくり応援の店」になることを希望する場合。

4 旅館におけるヘルシーメニュー導入モデル事業（「健康づくり応援の店」として登録）

(1) 事業推進体制



(2) 事業内容

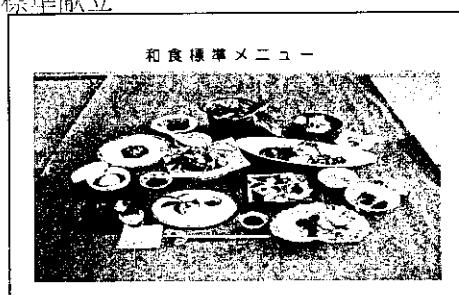
① ヘルシーメニュー研究会

標準メニューの作成（和食、洋食）、ヘルシーメニュー発表会、調理師の研修会

② 食生活改善推進員ブロッコ研修会でのヘルシーメニューの提供

③ 糖尿病協会総会でのバイキング昼食の提供

(3) 標準献立



5 実施状況及び今後の取組

健康づくり応援の店は、平成16年3月10日現在220店舗登録されている。今後は、各登録店の内容の充実を図るとともに、旅館におけるヘルシーメニューの普及を図る。また、モデル地区においては、温泉療法やヘルシーメニューの提供、観光地散策を組み合わせた旅館の楽しみ方をパンフレット等により提案していく。

6 ホームページアドレス : <http://info.pref.fukui.jp/kenkou/index.html>

事例 2

岡山県における食環境整備事業 (栄養成分表示、学習の機会の提供)

事例提供者：宇都宮 啓委員

1. 「栄養成分表示の店」登録事業

1 内容

「栄養成分表示の店」は、提供する料理の栄養成分表示を実施し、岡山県に登録された飲食店等。「栄養成分表示の店」として登録された飲食店等には、自主的に健康づくりに配慮したサービスの提供や健康情報の発信にも協力を依頼。

(1) 対象店舗

- ①一般食堂（日本料理店、西洋料理店、めん料理店など）、②仕出し屋（仕出し屋、弁当屋など）
- ③宿泊施設（ホテル、旅館など）、④製菓・製パン店（菓子屋、パン屋など）、⑤そうざい販売店

(2) 登録までの手順

申込み後、利用頻度の高い料理等について、県から委託を受けた社団法人岡山県栄養士会が栄養成分計算を行う。栄養成分表示の方法についても、アドバイスを行っている。

表示内容の確認した後、各保健所にて「栄養成分表示の店」として登録し、登録証（ステッカー）を交付。



(3) 健康に配慮したメニュー等の提供

自主的に健康に配慮したメニューを提供する店については、県が作成したシールを配付。



2 実施主体 岡山県（一部を岡山県栄養士会に委託して実施）

関係団体との連携：

- ・岡山県栄養士会・・・栄養成分計算、表示物作成のサポート
- ・岡山県食品衛生協会、岡山県飲食店業生活衛生同業組合・・・各飲食店等へ事業の普及啓発
- ・岡山県栄養改善協議会・・・自分たちの利用した飲食店等にメッセージカードを使って呼びかけ

3 実施状況

大手百貨店や国民宿舎からも協力いただいております、平成15年度中に130店舗が登録される見込み。今後、飲食店の利用者側の意見を募り、効果的な事業展開に向けた検討を行う予定。

2. 朝食毎日食べよう大作戦

1 内容

(1) 普及啓発活動

学校や地域において、料理教室や健康教室等を開催し、朝食の大切さを普及啓発するとともに手軽にできる朝食メニューの調理実習を行う。

(2) 子どもの朝食アンケート

料理教室や健康教室等のあらゆる機会を利用して、子どもの朝食摂取の実態をアンケート調査。

2 実施主体 岡山県栄養改善協議会

3 実施状況

(1) 学校との連携事業

学童・生徒等を対象に、学校と連携を図りながら学校行事として料理教室、健康教室等を開催。

(2) 地域でのふれあい事業

地域において、親子等を対象に、夏休み等の長期休暇や土日の休み等を利用して料理教室、健康教室等の開催。

3. 地域のお母さんがすすめる健康支援事業

1 内容

(1) 閉じこもりがちな親子等への家庭訪問

地域で乳幼児健康診査等に参加しない閉じこもりがちな親子や育児不安を持つ親、食生活が乱れがちな親に、愛育委員、栄養委員が気持ちのこもった手作りおもちゃやおやつなどを持って親子交流会やクッキング等へ参加の声かけ訪問を行う。

(2) 親子交流会

愛育委員、栄養委員が中心となって、母子クラブ、老人クラブ、民生委員、児童委員等と連携しながら、その地域に伝承されている昔あそびや絵本の読み聞かせ等の実施を通して、親子の絆の深め方を学ぶ交流会を小地域で開催する。

(3) 地域のお母さんの味クッキング

家庭や地域に伝わるお母さんの味や地域の特産物を使った郷土料理等「フード」を取り入れた親子料理教室を通して、バランスのとれた食生活を身につけ、楽しいコミュニケーションを図ることにより、親子の絆を深めるとともに子どもの情操を育む。また、旬の食材や郷土食を通して食文化を学ぶ。

(4) 研修会、報告会の開催

愛育委員、栄養委員のリーダーを対象に、地域ぐるみの「子育て」や「食育」に関する研修会を実施するとともに、各地域での実践活動の情報交換や専門研修を実施することにより健康に視点をあてた子育て支援能力のステップアップを図る。

2 実施主体 岡山県（岡山県愛育委員連合会及び岡山県栄養改善協議会へ委託して実施）

3 実施状況

「地域のお母さん」的存在である愛育委員、栄養委員の組織力やきめ細かいボランティア活動を生かし、母子クラブ、老人クラブ、民生委員、児童委員等と連携しながら、身近な相談相手としての声かけ訪問や小地域での親子交流会、親子料理教室の開催を通して地域の人たちと共に子育ての輪を広げている。

「健康おかやま21ホームページ」<http://www.pref.okayama.jp/hoken/kentai/kenkou/index.htm>

「岡山県栄養改善協議会ホームページ」

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/kentai/eiyukaizen/eiyukaizen.htm>

事例 3

広島県における健康生活応援店事業

(県, 喫茶飲食生活衛生同業組合, 栄養士会との連携)

事例提供者：広島県福祉保健部保健医療総室健康増進・歯科保健室 木村 要子氏

1 内容

「健康ひろしま21」の普及啓発の一環として、県民の自主的な健康づくを支援する等、地域での健康づくりの拠点の一つとして「健康生活応援店」を認証している。認証された店には、認証ステッカーを交付。

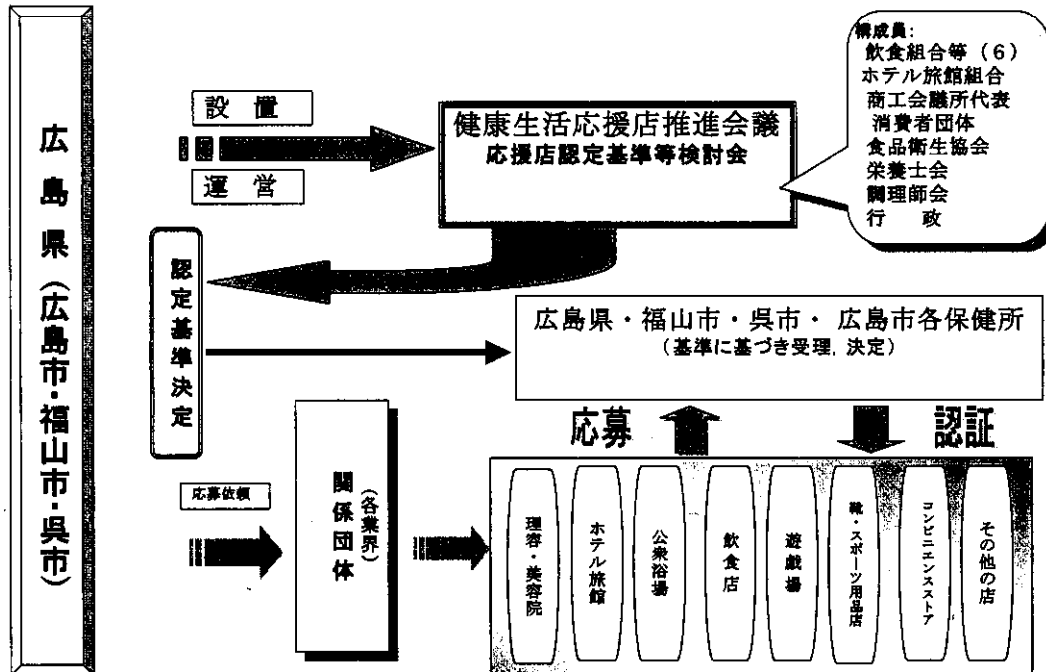
全県一斉実施に向け広島市、呉市、福山市に事業内容を説明し共同実施とした。

平成14年度は推進会議を開催し、認証基準、募集方法等検討後、関連業界へ制度を周知、広報し、認証店募集を開始した。また、制度の普及のためにポスターチラシを配布し、保健所及び関係業界を通じ制度の普及に努めた。



ステッカー

2 健康生活応援店体系

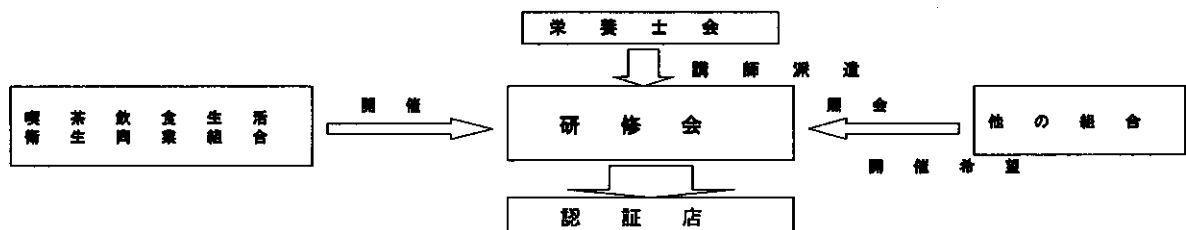


3 登録までの手順

認証を希望する店舗は管轄の保健所に所定の様式で申し込む。申し込みは原則郵送とせず申し込み者(代理可)が直接出向いて行う。認証後、ステッカーが配布される。

4 喫茶飲食生活衛生同業組合との連携

健康生活応援店推進会議のメンバーである喫茶飲食生活衛生同業組合と連携し、栄養士会の協力を得て組合員への研修を実施し、健康生活応援店への参加を呼びかけ、食生活及び禁煙分煙応援店への取組を推進している。



5 認証項目及び基準

- (1) 禁煙・分煙応援店
全館禁煙若しくは喫煙室の完全分離といったたばこを吸わない人にたばこの煙がいかないような措置がされている店舗。
- (2) 食生活応援店には、次の3種類。
 - [1]栄養成分の表示
料理や惣菜5メニュー以上に、エネルギー、たんぱく質、脂質、塩分の表示
 - [2]ヘルシーメニューの提供
野菜たっぷり……定食、一品料理または惣菜の一人前に100g以上野菜が使われている
塩分ひかえめの……定食一人前の料理に含まれる塩分（食塩換算）が3.3g以下である
 - [3]アレルギー食品表示
アレルギー食品5品目(卵・乳・小麦・そば・落花生)を使用した料理や惣菜にその食品名を表示。全メニューに表示できない場合は、表示、非表示の別を明確にする。
- (3) 運動実践応援店は次の2種類。
 - [1]正しい歩き方指導
 - [2]サークル支援 スポーツサークルの紹介やサークル活動の支援
- (4) その他
包装紙などに健康づくりの標語を印刷している、店内で定期的に健康相談を実施しているなど創意工夫をして、県民の健康づくりを支えている店舗。

6 対象店舗

飲食店（食堂，レストラン，喫茶店），理容・美容院，映画館，ホテル・旅館，
スーパーマーケット，ファーストフード，靴販売店，スポーツ用品店，公衆浴場

7 実施状況及び今後の取組

現在、約100店舗登録。

平成15年度にホームページを開設し、県民へ認証店の利用促進を呼びかけるとともに、マスコミや保健所を通じて認証状況を公表している。

今後の制度の推進体制を検討するための資料としてアンケート等計画。

8 ホームページアドレス：<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/ouen/index.html>